

共同温泉見える化計画

～福祉・観光で活用する動画制作～

はま^{ラン}RUN会 寺田 竜

【別府市の共同温泉について】

日本一の温泉湧出量を誇る別府市では明治・大正時代より愛され続けている歴史ある温泉が多くあります。自宅に浴室を設けず、入浴は各町内にある共同温泉を利用するという共同温泉文化があります。共同温泉は利用する住民が組合員となり、組合員を中心に管理運営を行っています。観光客は100～300円程の入湯料を支払うことで利用出来ます。

市内にはこのような共同温泉が約80箇所あり、私が担当する地域にも10箇所の共同温泉があります。高齢者にとって共同温泉は身近な地域コミュニティーの場であり、入浴以外にも住民同士の交流の場、情報交換の場、安否確認の場等、様々な機能をもつ毎日利用する【通いの場】となっています。

一方で、住宅に浴室を設けることが主流となったこと、ライフスタイルの多様化、若い世代の温泉離れにより共同温泉利用客は減少しています。

さらにコロナが影響し、湯めぐり観光での集客は減少、共同温泉の運営は非常に厳しい状況となっています。運営難に陥り廃業するケースも少なくありません。

共同温泉の廃業は、入浴の場と通いの場を同時に失うことに繋がります。

そのような中、利用客の大半が高齢者になっていることも課題になりつつあります。

コロナ禍では密集を避ける為に、利用客の少ない時間帯に入浴することが増え、高齢者の温泉内での転倒事故、事故発生から発見までの遅れが生じるケースが増えています。

共同温泉の現状について地域の方々や地元企業、福祉団体、観光団体関係者と話し合いの場を設け、事故防止と早期発見の為に、緊急時に外部に助けが呼べる緊急非常ベルの設置を検討しました。

話し合いをきっかけに、浜脇地域と共に伴走し地域作りを考える団体「はまRUN会」が発足し、設置が実現しました。

さらに、今後の共同温泉の活性化や地域住民が安心して生活ができる地域作りの一環として、「共同温泉見える化計画」を企画する事となりました。

高齢者の課題としては

- ・段差や階段が多く、手摺りが設置されていないため転倒事故や入水事故が多い。

・身体機能が低下した際、浴槽への出入りや脱衣所からの移動がハードルとなり一人での入浴が困難となる。(リハビリでの機能改善を図るにも共同温泉の情報が少なく、専門職が効果的なリハビリを提案できない)

・転倒事故の可能性が高い高齢者は運営側より単独での利用を断られてしまうケースがある。

・共同温泉に入れないことで自宅に浴室がない方は入浴支援として介護サービスの利用に繋がってしまう。(別府市では共同温泉での訪問介護は利用できない為、代替案としてデイサービスでの入浴しか手段がない)

などが抽出されました。

運営側からとしては

・高齢者に合わせ手摺りや段差解消の改修を行いたい予算がない。

・利用客が減少し運営自体が厳しい。

・番台を雇う予算がなく、事故が起きても気づいてあげられない。

・廃業した事で入浴難民が生まれてしまう。

(多くの利用客は隣の町内の温泉に行く等の対応を行う)

・運営側も高齢になり維持管理だけで手一杯。などの意見が出ました。利用者側、運営側双方の問題解決に向けた活動として、観光&福祉の両輪で活用可能な温泉内部情報動画を作成することにしました。

※観光客に向けて…

・観光の集客促進の為、内部情報や利用料、効能、入浴マナーを動画内に盛り込む。

・動画を QR コードに変換し各温泉に掲示。観光客が立ち寄った際に温泉の情報を取得できるようにする。

※福祉関係に向けて…

・内部の段差や階段

・浴槽の深さなどの情報を動画内に盛り込む。

・各地域の温泉情報や温泉見取り図をまとめた冊子の作成を行い、観光案内所などに配布。高齢者や障害者が観光に来た際に事前に段差や階段の有無を確認することが出来るツールとして活用。

・内部動画集を DVD 化し高齢者等の関係機関、医療機関等へ提供。リハビリに活用できる情報ツールとして活用。地域ケア会議への情報提供に活用。

※地域に向けて…

・別府の歴史文化として後世に残す為の記録として保管。

・市内小中学生が別府市の歴史・文化を学び、まちづくりを担う心を育む目的とした取り組み「別府学」への情報提供。

この活動を「はま RUN 会」が中心となって行う中で、地域福祉や地域活性に協力をして頂ける仲間の輪が広がり 撮影編集を地元大学生が、各温泉の歴史等の情報収集を地域企業や団体が、内部の見取り図作成に地元工務店が 協力して下さいました。

今後、地区内 10 箇所共同温泉での撮影を予定。現在 4 箇所撮影済です。現在 3 箇所の共同温泉を You Tube にて配信中。

チャンネル名「別府 KYO～湯チャンネル」です。是非皆様ご覧になって下さい。

おわりに、今後も別府市の特色である共同温泉を舞台に、安心安全な街作り、多世代交流の場づくり、温泉文化の継承、様々な世代が我がまちに関心を持ち地域に関するきっかけになることを目指し、企業・地域・福祉事業所など他機関で協力して活動を行っていくための企画を推進していければ幸いです。